

令和5年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第77回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

令和5年6月10日(土) Bブロック 1回戦 緑が丘スポーツ公園体育館 Cコート 第3試合

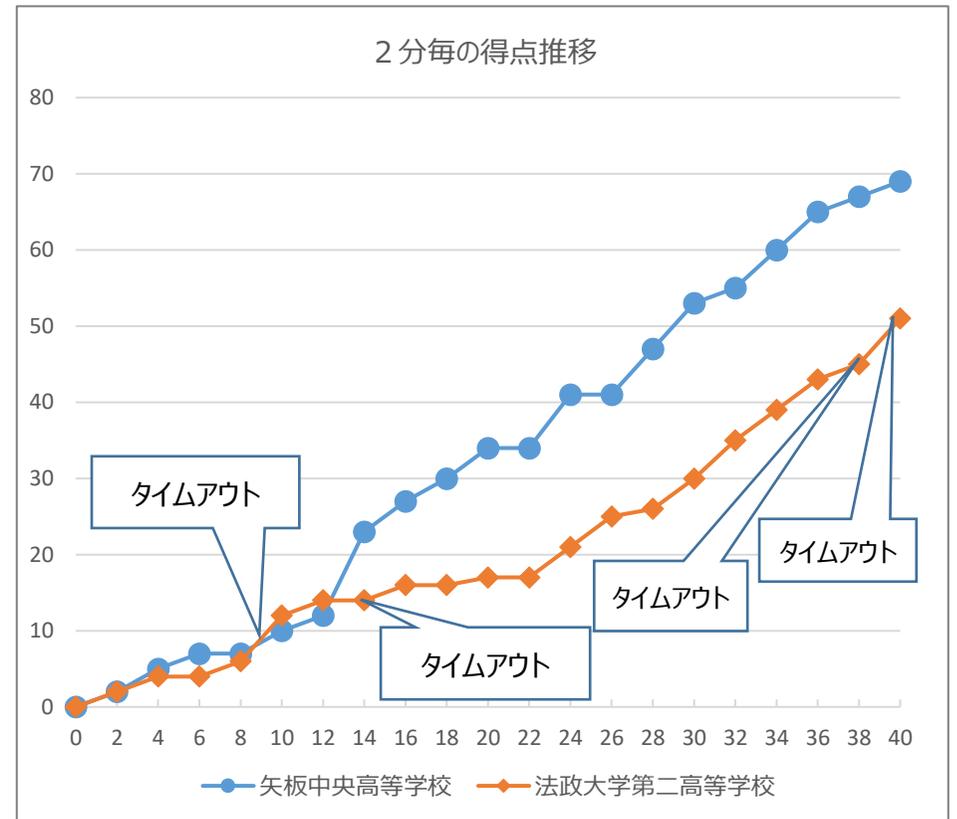
チームA		10 1st 12		チームB
矢板中央高等学校 (栃木県)	69	24 2nd 5	51	法政大学第二高等学校 (神奈川県)
		19 3rd 13		
		16 4th 21		
		OT		

Aチーム： 矢板中央高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		5	山林 蒼											
2		8	大島 彩乃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
3		11	佐藤 七海	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
4	*	13	稲富 瑠依	7	1	6	1	10	2	3	5	2	4	6
5		14	小池 妃奈	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1
6		16	福田 愛那美	8	0	0	4	8	0	0	3	2	0	2
7	*	17	大隅 萌加	11	0	0	5	7	1	2	3	5	7	12
8		21	柴田 幸愛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9		30	坂本 実央	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
10	*	31	阿部 麦香	8	2	6	0	2	2	2	3	2	0	2
11		32	中村 日菜多											
12		52	赤石 和紗	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	2
13	*	63	渡邊 涼望	23	7	9	1	8	0	2	1	0	6	6
14		73	大根田 華音	2	0	3	1	5	0	2	1	1	3	4
15	*	93	小川 希来	8	1	2	2	2	1	0	2	0	0	0
HC/TEAM				長田 美華								4	0	4
合計				69	11	30	15	44	6	11	21	17	24	41

Bチーム： 法政大学第二高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
1	*	1	三浦 栞那	21	0	3	9	23	3	9	1	1	10	11	
2		3	水上 昌姫	0	0	1	0	2	0	0	1	1	0	1	
3		4	眞野 花琳	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	
4	*	5	西山 梨子	13	0	2	4	10	5	7	2	4	7	11	
5		10	川久保 心花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
6	*	12	山田 彩衣	4	0	4	2	7	0	0	4	2	6	8	
7		24	西原 あかり	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
8		25	原 花怜	5	1	11	1	0	0	0	0	1	3	4	
9	*	29	小林 深紅桃	4	0	0	2	2	0	2	3	1	4	5	
10		33	大沼 礼奈												
11		51	後藤 璃咲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12		55	岡本 彩希	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
13	*	75	遠山 媛加	0	0	3	0	3	0	2	3	0	0	0	
14		83	小笠原 紗	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	
15		91	長尾 香里奈												
HC/TEAM				岡村 幸恵									1	1	2
合計				51	1	26	20	49	8	20	15	11	35	46	



戦評

記者：三井 岳人 (山梨県高体連)

1Q: 矢板中央ハーフコートマンツーマンディフェンス、法政二3-2ゾーン・マンツーマンのチェンジングディフェンスでスタート。法政二#12ドライブシュートでゲームが動く。一方矢板中央も#13フリースローで2点決め返す。お互いシュート確率がなかなか上がり重たい展開が続き、矢板中央10-12法政二のロススコアで終了。

2Q: 主導権を握りたい矢板中央は1-2-2のゾーンプレスに変え相手のミスを誘う。法政二はゾーンプレスを攻めあぐね、矢板中央#63の連続3Pで14-25とされタイムアウト。その後法政二は3Pなどで応戦するも確率が上がらず、激しいディフェンスで効果的に3Pを決めた矢板中央が34-17で前半終了。

3Q: 流れを変えたい法政二は、3-2ゾーンディフェンスから積極的にダブルチームを仕掛け、相手のシュートミスを誘う。矢板中央は引き続きゾーンプレス・ゾーンで相手のミスを誘い、加点していく。途中、法政二はディフェンスを変化させながら逆点を狙うも、シュートがなかなか入らず、矢板中央53-30法政二で終了。

4Q: 開始直後から#25の3P、#5のシュートが決まり反撃を開始する法政二だが、その後なかなかシュートが決まらない。矢板中央は、激しいディフェンスから着実にシュートを決め突き放しにかかる。法政二はオールコートディフェンスで追いつがるものの、最終ゲームを支配した矢板中央が69-51で勝利した。

主審	第1副審	第2副審
雨宮 恵 (山梨)	工藤 雅子 (茨城)	山越 優美 (千葉)